

社会福祉法人やず 定款

第1章 総 則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第1種社会福祉事業

- (イ) 軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営
- (ロ) 特別養護老人ホームの経営

(2) 第2種社会福祉事業

- (イ) 介護老人保健施設の経営
- (ロ) 老人デイサービスの経営
- (ハ) 老人居宅介護事業の経営
- (ニ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人やずという。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者等を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を鳥取県八頭郡八頭町宮谷123番地に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員9名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、監事3名、法人本部職員2名、外部委員3名の合計8名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の2名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の任期)

第7条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時 評議

員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 評議員は、第5.条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第8条 評議員に対して、各年度の総額が50万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める役員等報酬及び費用弁償規程（以下「役員等報酬規程」という。）により、報酬等として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第9条 評議委員会は、全ての評議員をもって構成する。

- 2 評議員会に議長を置く。
- 3 議長は、その都度評議員の互選により選任する。

(権限)

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事並びに会計監査人の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第13条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 2 前項の場合において、議長は、評議員会の議決に評議員として加わることはできない。
- 3 第1項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
 - (1) 監事の解任
 - (2) 定款の変更
 - (3) その他法令で定められた事項
- 4 理事又は監事を解任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければ

ばならない。理事又は監事の候補者の合計数が第15条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

5 第1項及び第3項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第14条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第4章 役員及び会計監査人並びに職員

（役員及び会計監査人並びに職員）

第15条 この法人には、次の役員を置く。

（1）理事 8名

（2）監事 3名

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、1名を副理事長、1名を専務理事、1名を常務理事とする。

4 この法人に会計監査人を置く。

（役員及び会計監査人の選任）

第16条 理事及び監事並びに会計監査人は、評議委員会の決議によって選任する。

2 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

（理事の職務及び権限）

第17条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

第18条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（会計監査人の職務及び権限）

第19条 会計監査人は、法令で定めるところにより、この法人の計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書）並びにこれらの附則明細書及び財産目録を監査し、会計監査報告を作成する。

2 会計監査人は、いつでも、次に掲げるものの閲覧及び謄写をし、又は理事及び使用人に対し、会計に関する報告を求めることができる。

（1）会計帳簿又はこれに関する資料が書面をもって作成されているときは、当該書面

（2）会計帳簿又はこれに関する資料が電磁的記録をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を法令で定める方法により表示したもの

（役員及び会計監査人の任期）

第20条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 3 理事又は監事は、第15条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 4 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、その定時評議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

(役員及び会計監査人の解任)

第21条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき
- 2 会計監査人が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
 - (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき
 - (2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき
 - (3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき
- 3 監事は、会計監査人が、前項各号のいずれかに該当するときは、監事全員の同意により、会計監査人を解任することができる。この場合、監事は、解任した旨及び解任の理由を、解任後最初に招集される評議員会に報告するものとする。

(役員及び会計監査人の報酬等)

第22条 理事及び監事に対して、評議員会で別に定める役員等報酬規程の定めるところにより、報酬等として支給することができる。

- 2 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て、理事会において定める。

(職員)

第23条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第24条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

- 2 理事会に議長を置く。
- 3 議長は、その都度理事の互選により選任する。

(権限)

第25条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の選任及び解職

(招集)

第26条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故あるときは、副理事長が理事会を招集する。

(決議)

第27条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、

その過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第28条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 出席した理事及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第6章 資産及び会計

（資産の区分）

第29条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産及び公益事業用財産の3種とする。

- 2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 土地① 次の地番所在の介護老人保健施設すこやか敷地	3, 637.70 ^m ²
イ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下山根123番	3, 595.61 ^m ²
ロ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下山根126番1	20.76 ^m ²
ハ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下山根121番5	19.33 ^m ²
(2) 土地② 次の地番所在のケアハウスすこやか敷地	4, 468.05 ^m ²
イ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字上野辺り165番1	2, 570.05 ^m ²
ロ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字上野辺り166番	297.00 ^m ²
ハ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井179番	1, 129.00 ^m ²
ニ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井181番	472.00 ^m ²
(3) 土地③ 次の地番所在の特別養護老人ホームすこやか敷地	9, 187.03 ^m ²
イ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下野辺り174番1	2, 680.63 ^m ²
ロ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下野辺り174番2	801.27 ^m ²
ハ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下野辺り174番3	468.71 ^m ²
ニ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井上分24番	1, 539.43 ^m ²
ホ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井上分27番4	267.00 ^m ²
へ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井上分27番5	149.00 ^m ²
ト 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井上分28番3	348.00 ^m ²
チ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井中分28番2	291.00 ^m ²
リ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井中分59番14	279.99 ^m ²
ヌ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字上野辺り173番1	803.00 ^m ²
ル 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字上野辺り173番2	1, 299.00 ^m ²
ヲ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井188番1	172.00 ^m ²
ワ 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井188番3	88.00 ^m ²
(4) 土地④ 次の地番所在の小規模多機能型居宅介護施設きたやま敷地 及び小規模特養護老人ホームきたやま敷地	6, 934.26 ^m ²
イ 鳥取県八頭郡八頭町北山字上林崎159番1	6, 891.26 ^m ²
ロ 鳥取県八頭郡八頭町北山字林崎152番	43.00 ^m ²
(5) 建物① 次の地番所在の介護老人保健施設すこやか建物	4, 765.64 ^m ²
所在地 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下山根123番地 126番地1	
構造面積 鉄筋コンクリート造屋根瓦葺 5階建1棟	4, 765.64 ^m ²
(6) 建物② 次の地番所在のケアハウスすこやか建物	2, 726.56 ^m ²
所在地 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字上野辺り165番地 166番地 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井179番地	
構造面積 鉄筋コンクリート造瓦葺 3階建1棟	2, 584.06 ^m ²
付属建物 木造亜鉛メッキ鋼板葺 平屋建1棟	142.50 ^m ²
(7) 建物③ 次の地番所在の特別養護老人ホームすこやか建物	4, 830.97 ^m ²

所在地 鳥取県八頭郡八頭町宮谷字下野辺り 1 7 4 番地 1 1 7 4 番地 2
1 7 4 番地 3 1 7 4 番地 1 先
鳥取県八頭郡八頭町宮谷字河井上分 2 4 番

構造面積 鉄筋コンクリート・鉄骨造瓦葺 2階建 4, 7 6 9. 6 4 m²
付属建物 1 木造瓦葺平屋建 3 7. 5 0 m²
付属建物 2 鉄筋コンクリート造コンクリート屋根平屋建 1 2. 6 2 m²
付属建物 3 鉄筋コンクリート造瓦葺平屋建 1 1. 2 1 m²

(8) 建物④ 次の地番所在の小規模多機能型居宅介護施設きたやま建物

8 3 4. 3 0 m²

所在地 鳥取県八頭郡八頭町北山字上林崎 1 5 9 番 1
鳥取県八頭郡八頭町北山字林崎 1 5 2 番

構造面積 木造かわらぶき平屋建 8 3 4. 3 0 m²
付属建物 鉄筋コンクリート造屋根平屋建 1 2. 0 0 m²

(9) 建物⑤ 次の地番所在の小規模特養老人ホームきたやま建物

1, 1 3 5. 4 5 m²

所在地 鳥取県八頭郡八頭町北山字上林崎 1 5 9 番 1

構造面積 木造かわらぶき平屋建 1, 1 3 5. 4 5 m²

3 その他財産は、基本財産及び公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第 3 7 条に掲げる公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄付された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

(基本財産の処分)

第 3 0 条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事会及び評議員会の承認を得て、鳥取県知事の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、鳥取県知事の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

(資産の管理)

第 3 1 条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

3 前項の規定にかかわらず、基本財産以外の資産の現金の場合については、理事会の議決を経て、株式に換えて保管することができる。

(事業計画及び収支予算)

第 3 2 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事会の決議を経て、評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、この法人の事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第 3 3 条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、かつ、第 3 号から第 6 号までの書類について会計監査人の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

- (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
 - (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属書類
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に報告するものとする。ただし、社会福祉法施行規則第2条の39に定める要件に該当しない場合には、第1号の書類を除き、定時評議員会への報告に代えて、定時評議員会の承認を受けなければならない。
- 3 第1項の書類のほか、次の書類をこの法人の事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款をこの法人の事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
 - (2) 会計監査報告
 - (3) 理事及び監事並びに評議員の名簿
 - (4) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (5) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第34条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第35条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第36条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数の3分の2以上の同意がなければならない。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第37条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援をすることなどを目的として、次の公益事業を行う。

(1) 居宅介護支援事業の設置経営

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

第8章 解散

(解散)

第38条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第39条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第40条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、鳥取県知事の認可（社会福祉法第45条の3第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を鳥取県知事に届け出なければならない。

第10章 公告の方法その他

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、社会福祉法人やずの掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第42条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

(施行期日)

第1条 この定款は、鳥取県知事の認可の日から施行する。

(当初の役員)

第2条 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理 事 長	小 林 実
理 事	大 谷 伯
理 事	井 上 英 生
理 事	山 根 正 樹
理 事	奥 田 信 義
理 事	広 江 研
監 事	中 尾 直 昭
監 事	野 田 誠 一

(最初の会計年度)

第3条 この法人の設立初年度の会計年度は、第23条の規定にかかわらず、設立の日から平成10年3月31日までとする。

第4条 この法人の、設立初年度の事業計画及び予算は、第23条の規定にかかわらず、設立代表者総会の定めるところによる。

附 則

平成10年 5月27日 第17条の改正を行う。

平成11年 4月14日 第1条、第17条の改正

平成11年11月 1日 第4条、第12条の改正

平成11年11月15日 第17条の改正
平成11年12月13日 第4条、第12条の改正
平成12年 4月 1日 第1条、第17条、第26条の改正
平成13年 2月23日 第4条の改正
平成13年 5月 2日 第17条の改正
平成13年12月18日 第3条追加による全条文の改正
平成14年12月16日 第5条、第6条、第18条、第23条の改正
平成15年10月 1日 第19条の改正
平成16年 1月 5日 第1条、第18条、第33条の改正
平成16年 3月23日 第18条の改正
平成17年 6月 8日 第4条、第5条、第14条、第18条の改正
平成17年11月21日 第3条、第9条、第27条、第28条の改正
平成18年 1月23日 第5条、第6条、第13条の改正
平成18年 7月 6日 第1条の改正
平成18年 9月14日 第18条の改正
平成20年12月19日 第18条の改正
平成21年 1月29日 第18条の改正
平成23年 3月25日 第1条の改正
平成23年 6月20日 第18条の改正
平成23年11月 7日 第5条、第13条の改正
平成25年 5月20日 第18条の改正
平成25年11月 8日 第27条第1項①削除、②を1繰り上げる。
平成26年 5月23日 第18条第2項土地①、土地①ハの改正

附 則

- 1 この定款は、平成29年4月1日から施行する。ただし第29条第2項の一部改正については、鳥取県知事の認可の日から施行する。
- 2 会計監査人については、社会福祉法第37条の規定に基づく政令の定める基準により、この法人が特定社会福祉法人に該当しないときは、定款第15条第5項の規定にかかわらず、これを置かないものとする。